第112回 (令和5年度)日本病理学会宿題報告応募抄録

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| (ふりがな)  応募者氏名 | 印 　 　　　会員番号:  生年月日:　　　年　　月　　日生まれ　　（　　歳） | | |
| 所属 |  | 職名 |  |
| 所属住所 | 〒  電話: Fax: 電子メール: | | |
| 応募者略歴 |  | | |
| 本学会に  おける受賞歴 |  | | |
| Pathology Internationalへの総説投稿 | 以下について、ご了承後にチェックを入れてください。  □ 宿題報告を担当した場合、Pathology Internationalへ総説を投稿します。 | | |
| 宿題報告担当者として病理学会員に呈示したいperspective (専門領域あるいは病理学全般に関して): | | | |

**以上、1ページ以内におさめること。**

|  |  |
| --- | --- |
| 演題名 |  |
| 選考用抄録 (**1100**字以内)  **記述の中で論文報告しているものについては、業績一覧の番号を附すこと。** | |

宿題報告選考用関連論文一覧

50編以内。以下の記載例に倣うこと。

著者は省略せず全員を記載すること。応募者に下線を付すこと。

別刷をつけた業績のあたまに「〇」印をつけること。

記載例:

論文

1. Suzuki I, Tanaka J, Yamada S, Ito S. Expression of ZRRF1 and its biological role in invasive ductal carcinoma of the breast. Pathol Int 50; 500-505, 2015

2. 田中二郎, 鈴木一郎, 山田三郎, 伊藤四郎. 浸潤性乳管癌の間質形成と臨床的特性. 診断病理, 50; 175-180, 2014

著書

. Suzuki I, Tanaka J: Prognostic markers for invasive breast cancer. Histopathology. (Ed) Yamada S, Ito S, Pathology Press, Tokyo, p.175-180, 2013

2. 田中二郎, 鈴木一郎: 乳癌の病理像と臨床像. 組織病理 (山田三郎, 伊藤四郎・編集). 病理書院, p.175-180, 2012